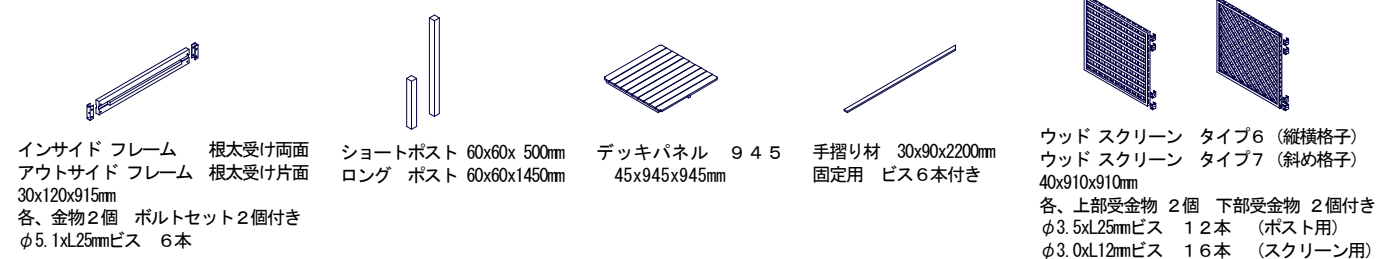


ユニットデッキ 945 取り扱い説明書

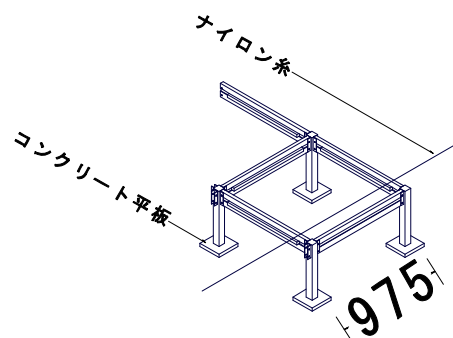
組み立ての前に部品を確認して下さい。



設置場所のレベル調整に関して

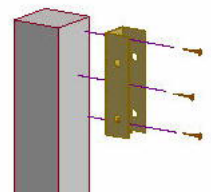
デッキ設置の最大のポイントは水平レベルの取り方で、これが済めばきれいな仕上がりは確実です！
方法は2通りでポストの接地面の高さを調整するか、ポストそのものの長さを調整するになります。
いずれにしても設置場所を困むようにナイロン糸などを張って水平が簡単に確認できる下準備をします。

- * 高低差があまり無い設置場所であれば図のようにポストの下にコンクリートの平板を使う方法が簡単です。コンクリート平板の下に土や砂利を敷いてナイロン糸からメジャーで表面までの高さ計りながら調整します。
- * ポストの接地面が盛り上がりが高くなっているようなら、削って盛り上がり無くすかポスト自体をカットして調整をします。この際もナイロン糸から接地面の高さを計ってカットする長さを決めます。
- * コンクリート平板の中心と中心を結んだ距離は約950ミリを目安にしてください。



組み立て手順

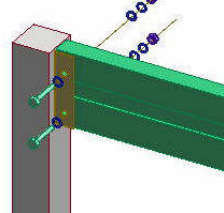
まず始めにポストにフレーム受け金物をビス止めします。



- ★コーナー用は90度の角度に隣り合う二面にビス止めします。
- ★コーナー以外の外側に接するポストには三面にビス止めします。
- ★デッキ中央側に位置するポストには四面すべてにビス止めします。

必要工具 : 電動ドリルドライバー

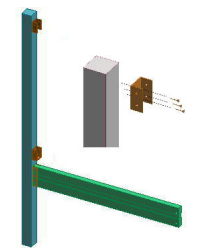
すべてのポストにフレーム受け金物を取り付け終わったら、フレームとポストを結んで四角い枠を組み上げてゆきます。



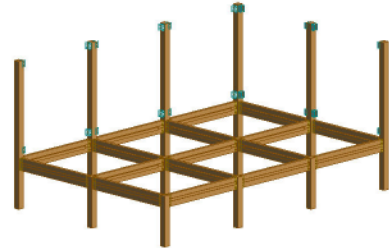
- ★ボルト+ワッシャー+フレーム+ワッシャー+スプリングワッシャー+ナットの順になるようにして軽く締め付けてください。
- ★2本のレンチまたはスパナを使って締め込むと簡単に作業ができます。
- ★外側に接するフレームには根太受けの出っ張りが片面にだけ付いています。
- ★内側に接するフレームには根太受けの出っ張りが両面に付いていますので区別して組み上げてください。

必要工具 : スパナ、レンチ等 使用サイズ 13ミリ

ロングポストにスクリーン受け金物を取り付けます。



- ★スクリーンが抜け落ちないようにストッパーが付いている金物が下側に位置します。
- ★すべてのポストとフレームが結びつけられると右の図の様になります。
- ★この段階ではボルトを軽く締めているのでポストやフレームが少し動く程度がベストの状態です。

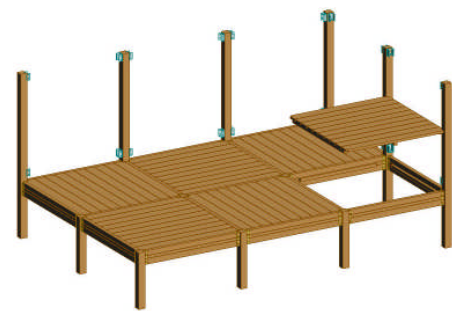


*****ご注意*****

セランガン・バツ材は耐久性がある木材で繊維が非常に硬いため、トゲで怪我をしない様に作業の際は必ず軍手等の手袋を着用してください！！

重量がありますので手を挟んだり、足の上に落としたりしないよう充分ご注意ください。

デッキパネルをフレームの間にはめ込んでいきます。



- ★フレームとポストを止めつけるボルトが緩い状態で、デッキパネルを区画全体に仮置きします。(マス目が正方形になっていないとうまくはめ込めません。)
- ★なかなかデッキパネルがはまらない場合はポストの位置をずらすようにするとうまくできます。
- ★全区画に仮置きができたなら、任意の場所のでデッキパネルをできるだけ優しく取り外し、フレームとポストを止めつけるボルトをしっかりと締め込み、取り外したデッキパネルをはめ込みます。この作業を繰り返し床面を完成させます。
- ★はめ込み作業をする際にフレームとデッキパネルの間に指を挟んだりしないように十分に注意をして作業してください。

スクリーンをポストの間にはめ込みます。



- ★スクリーン用の受け金物の間に上から下へスライドさせるようにはめ込みます。
- ★スライドさせにくい時はポストを押ししたり引いたりして調整しながら作業をします。
- ★すべてはめ込んだら、スクリーンが動かないように金物の横からビス止めします。この際に下穴を開けるとスクリーンの枠材の割れが防げます。

手摺りを取り付けます。



- ★手摺りをポストの上に乗せて上面からポストに対してビス止めをします。このとき手摺りにドリルで下穴を開けてください。
- ★手摺りが直角に交差する箇所は手摺りを45°にカットして額縁の様に合わせてください。
- ★手摺りの長さは2.2メートルなので短い場合はポストの中央部で継ぎ足すようにしてください。
- ★最後にステップを取り付ければ完成です。取り付けに関してはステップの取り扱い説明書をご覧ください。

素材の特徴

- この製品は無垢のセランガンバツ材を使用していますので、天然素材特有の変色、変形などの経年変化があります。
- この素材は防腐処理をせずに屋外で10年から18年腐らないとのデータがでています。
- 使い始めに素材表面の色素が水などに触れて流れ出て設置場所の壁面、床面を茶色くする事があります。
- 天然素材なので変化は一定しませんが、設置後次第に濃い茶色に変わりその後次第にネズミ色に変化します。

ご使用上の注意(必ずお読み下さい)

- この製品の素材は耐久性のある非常に硬い木材ですのでササクレ、トゲなどがささりケガをする危険がありますので直接肌に触れないように作業の際には手袋などをご使用下さい。
- 設置後、歩行する際には靴、サンダル等の履き物を使用して下さい、素足で歩行するとササクレ、トゲ等でケガをする危険があります。
- 天然素材特有の経年変化により、手摺りにもササクレ、トゲがあらわれる事がありますので、ご使用になる前に点検する事をお勧めします。手摺りに布団や衣服を掛けて乾かししたりした場合にそれらの繊維がほつれることがあります。ササクレが目立つ場合はサンドペーパーなどで表面を研磨してください、またトゲや割れて浮いた様な部分はカッターもしくはノコギリで切り取った後にサンドペーパーで表面を研磨してください。
- 鉄粉や銅パイプの切り粉等が木部に付着し空気により酸化すると黒色の斑点が現れることがあります。
- 雨などにより、木材の色素が床面または壁面に付着することがありますのでご注意ください。
- 素材の特質に起因する経年変化、汚損そして誤った利用法による損害に対して当社は一切の責を負いません。
- この取り扱い説明書はいつでも見られるように大切に保管してください。

Wood-decker

URL : www.wood-decker.com

Mail : frontdesk@wood-decker.com

〒171-0022

東京都豊島区南池袋 2-47-7 603号室

TEL. 03-3981-2274 FAX. 03-3981-2284